

笑顔満天

第 12号

R 1. 6. 1

【発行】

〒651-1621 神戸市北区淡河町神影115

児童養護施設 天王谷学園

TEL 078-958-0302 FAX 078-958-0346



昨年は「ほっと一息」を最初に書きました。今年も真夏のような炎天下の元、小学校の運動会を見て「ほっと一息」つくことが出来ました。子ども達の躍動感あふれる動き、パワーを感じ動きを見てこちらも元気になりました。

さて、令和になり何が変わったのか？学園ではいつも通りの新年度が始まり、4月に幼稚園に一人・小学校に三人・中学校一人・高校に七人・農大に二人進学し新たな気持ちでスタートを切り戸惑いながら学校に通っています。そして、それぞれの夢に向かって頑張っています。そして施設には今年度職員は一名入社しました。新しい風を吹き込んでくれると期待しています。「初心、忘るべからず。」この時期によく言われます。これは、元号が令和となっても変わらないと思います。初心を思い起こし新たな気持ちで取り組むということであり、新しい養育ビジョンに対しても入社したときの気持ちを思い出して「こどもを真ん中にして」何が出来るか、どうしたら実現できるかを一生懸命みんなで考えていくチャンスと捉えています。どんなアイデアが出てくるかが楽しみです。

また、保育園は定員一杯の19人の園児たちで新年度を迎えることになりました。賑やかです。地域に根ざした保育園として、幼稚園の預かり保育の後を預かる自主事業も継続しています。職員も園児たちの勢いに負けないよう笑顔満点で頑張っています。パワーをもらいにまた遊びに来て下さい。

当施設も数年のうちにユニット化のため建て替え等の改修計画を市と協議しながら具体化しなければなりません。施設の改修以前にユニット化を目指した職員の確保・育成も必要になります。社会的養育に関心を持っていただき支援される法人になれるよう職員一丸になって頑張りますのでご支援のほど宜しくお願いいたします。

今回の「笑顔満天」もたくさんの良い笑顔を載せて「ほっと一息」つける内容だと思えます。子ども達・職員の元気な様子をお楽しみください。

社会福祉法人天王谷学園 理事長 波来谷 徹生





クリスマス会



今年は小学校、中学校、幼稚園の先生方、地域の方、評議員の方とたくさんの方が見に来て下さいました。学園の児童、職員も合わせると100人を超え、賑やかなクリスマス会となりました。各フロアで練習を重ね、中女はマジックを、中男はダンスを、幼児と小学生はそれぞれ劇を披露しました。幼児さんはマジックに驚き、小学生はダンスがかっこいいと羨ましがり、幼児の劇は皆がかわいいとメロメロに。トリを飾ったのは小学生の劇。とあるCMのパロディで歌やダンスも入り30分弱の大作になりました。一人ひとりが一生懸命頑張り、観客から大好評でした。出し物の後はクリスマスプレゼントをもらったり、ピンゴゲームをしたり、豪華なご飯を食べ、たくさんの笑顔が見られました。子どもたちにとってとても良い1日になったと思います。(清河)

御弓神事



平成最後の御弓神事が例年通り淡河八幡神社にて二月に執り行われました。八百年前から続く伝統行事で県の重要無形民俗文化財にも指定されており、淡河町と志染町の中学校の生徒と地域の方々が代々再現し守り続けてきました。境内の緊張した空気の中、本園の児童も三名が中学校の行事として参加し、鬼が封じられているとされる的をめがけて弓を射ました。学校の後に練習をしていたこともあり三名とも見事に的を捉える事が出来ました。(澄生)



女子棟レクリエーション



三田にある、ながしお農場に行ってきました。参加者は全員女子でしたが、女子とは思えない食べっぷりで清々しかったです。お腹がいっぱいと言いつつも、イチゴに手が伸びてしまう程とても美味しいイチゴでした。その後は西山牧場に行き、沢山のヤギと触れあいました。ヤギに懐かれ、戯れている姿がとても微笑ましかったです。それぞれ皆満足しているようでした。(川辺)



ひな祭り会



今年もひな祭りにあやかってひな祭り会を実施しました。カラオケ大会では普段おとなしい子が別人のように綺麗な歌声を聴かせてくれたり、今年初めて実施した紙飛行機大会では、事前に作った紙飛行機をそれぞれ持ち寄り、一生懸命遠くへ飛ばそうと飛ばし方にも個性がたっぷり出た大会となりました。桜餅と三食団子を食べて楽しいひな祭りになって良かったです。(田川)



幼児・小学生レク



天候に恵まれ快晴の中、淡路島にある県立淡路島公園へ行きました。淡路島公園では長い滑り台やふわふわドーム、芝生広場等子どもの遊べる場所がとても沢山あり、幼児から高校生まで皆が汗をいっぱいかきながら楽しんでいました。また、水の遊び場という所があり、着替えを持参していたので着衣のまま水に浸かって「寒いー」と言いながら水のかけ合い等をして遊んでいました。お弁当を食べる際には、割りばしを上手に使いえず苦戦している子もいましたが1日を通してとても楽しい時間を過ごせたようで「また来たい!」という声が沢山あがっていました。(河村)





スキー大会

3月1日から3日に八子高原で中学2年生を対象に第51回神戸市児童養護施設連盟児童スキー大会がありました。今年は例年に比べ雪が少なく林間コースは滑ることが出来ず、中央グレンデを使ってのスキーでした。初日は行きたくない、滑れないから嫌やと言っていた子たちが3日経ってからは、滑れるようになって楽しかった、もうちょっと滑りたかったと言うようになっていました。ルールを守って楽しく滑ることが出来ました。(杉村)



沖縄招待旅行



一泊二日で沖縄に神戸市の養護施設の六年生児童で沖縄旅行に行きました。美ら海水族館や沖縄発祥の琉球空手、沖縄戦争での具体的な中身を見せてもらうなど、とても中身の濃い一泊二日を過ごしていた気がします。なかなかこのような貴重な体験は出来ない為六年生も一生懸命話を聞き最後はとっても良い顔で神戸に帰って来ていました。大人になってもまた行きたいと言葉にしていた児童が沢山いたのが印象に残っています。(山本)



卒業・卒園お祝い会

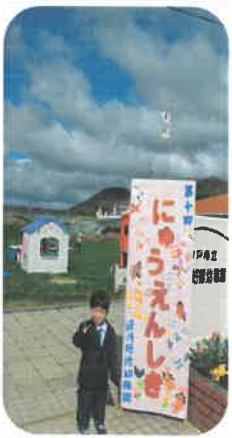


平成31年3月、幼稚園3名小学校1名、中学校7名、高校3名、計14名の卒業生のお祝い会をしました。

それぞれ舞台に立ち、4月から通う学校、頑張りたい事をしっかり大きな声で話しました。算数を頑張る、部活と勉強の両立、資格をとる等、皆とても頼もしかったです。厨房さん手作りの豪華弁当、ケーキ、おいしかったね。それから、今年は1名が学園を卒園しました。スライドショーでは幼児さんの頃のかわいい写真を見ながら様々な事を思い出していました。私たちはあなたに大切な事をたくさん伝えられたのかなあ……。夢に向かって頑張るあなたを心から応援しています。「いっぱい困らせてごめん。感謝してる。」卒園後に届いた手紙、大切にしています。(庄司)



幼稚園 入園式



桜が満開のこの季節に1名の男の子が幼稚園に入園しました。入園する前から早く幼稚園に行きたいと話していた為嬉しそうに学園を出発していきました。式中も静かに先生の話が聞けていたり大きな声で返事をしたりと成長した姿を見せてくれました。風邪や病気にかかることなく元気よく通園してほしいです。(中井)



高校 入学式



春の訪れと共に、7名の子どもたちが高校に入学しました。入学式当日は期待と緊張が入り混じったような表情をしていて微笑ましかったです。小学校、中学校同様に自分自身の“礎”が形成される場所だと思います。みんなには健康に気をつけ、充実した学校生活を送ってほしいです。(松本)





給食委員会

給食委員会の主な活動は、調理実習を子どもたちができるように進めていくことです。担当ごとに調理実習を行い、子どもたちが作りたいたものを一緒に作って料理に携わるようにします。委員会では、調理実習の報告をまとめ、改善をしてより良い調理実習ができるようにしていきます。また食事のマナーの改善を試みて、目標を提示したり、自立した時に恥ずかしくないようナイフ・フォークの使い方を教え、実践できるよう取り組んでいます。(南)



小学生の調理実習
(ホットケーキ)



いつもの
皆で夕食風景



児童養護施設に新たな仲間が入りました。紹介させていただきます。



小学生担当の古川由布子(ふるかわゆうこ)です。私は高校生の時から7年間、子ども達とキャンプをするリーダーをしていました。子ども達と友達のように接しながら色々な事を伝え、また私も子ども達から多くを学びたいと思います。宜しくお願いします。

お心遣い有難うございました

勝成会、有馬ロイヤルゴルフクラブ、三宮人街づくり協議会(夢未来号)、イオンリテール(株)、上淡河婦人会、湊建設工業(株)、P&Gジャパン(株)、フードバンク関西、タリーズコーヒージャパン(株)、(株)チュチュアンナ、協同食品(株)、全国シャンメリー協同組合、日本鏡餅組合、(株)神戸スイーツポート、(株)みの屋、沖縄タイムス社、COSTCOホールセールジャパン(株)、フィイントラロジスティック(株)、久兵衛、神果神戸青果(株)、(有)ダスカジャパン、神戸やまぶき財団、長尾自動車、日本教育公務員共済会兵庫支部、日本漢字能力検定協会、Threesheeps、(株)ユーハイム、フィールドエスト(株)、日本出版販売(株)、岡本(株)、串の屋本店、楽天みらいのつばさ、京都俵屋吉富、広瀬俊道、大島剛、高橋信雄、内藤富美代、田中和成、本田福馬、波来谷勝彌、堀哲雄(敬称略、順不同)

パンダこうとく保育園



パンダこうとく保育園は、5年目を迎えました。園児数も着実に増え、今年度は19名(0歳児2名、1歳児9名、2歳児5名、3歳児3名)という、マックスの状態です。施設面では、昨年度に総合遊具、防犯カメラ等々を購入し、保育園らしい施設になってきました。日々の子どもの生活も安定し、保護者の皆様も子どもたちを安心して保育園に預けてくださっています。一時預かり保育を希望される方も、次々と尋ねて来られます。お産で淡河に里帰りされる場合、兄弟の幼稚園の行事で保護者が参加しないといけない場合、お母さんの体調がすぐれない場合等々、様々なニーズに応じて預かり保育をしています。

幼稚園終了後の預かり保育の利用の方は、5月は少なめでしたが、幼稚園が夏休みに入ると、今年度は幼稚園の預かり保育がないため、本園での預かりを利用する方が多くなるのではないかと考えています。このように、乳幼児を抱えてお仕事をされる保護者の子育てをサポートさせてもらいながら、最近思うことは、親も子どもも忙しくて大変だなと感じるとともに、保育園の役割の重要性です。私たち保育者一人ひとりが子どもたちの体と心をしっかり育てていけるよう努力し、これからも子どもたちとの笑顔溢れる生活を大切にしていきたいと考えています。(佐伯)



<<編集後記>>

今とても時代の変り目が来ているように感じます。年号が平成から令和に変わり、秋には消費税も10%に上がりそうですし、来年は東京オリンピックが開催されます。児童養護施設の在り方もどんどん変わってきて、その事に対応できる力を試されているようにも感じます。施設に求められているのは何かを皆で考え、力を付けていきたいと思っています。(西ノ)

